

総合的病害虫・雑草管理（I P M）の推進（継続）

食の安全・安心確保交付金（病害虫の防除の推進）

【 2 , 3 1 4 （ 2 , 3 4 5 ） 百万円の内数】

対策のポイント

環境に配慮した病害虫管理体制を構築するため I P M のモデル地域の育成、環境負荷低減技術の確立を図ります。

（ I P M とは）

環境に配慮した農業生産を実現するための 3 つの原則、

- ① 病害虫・雑草が発生しにくい環境をつくります。
- ② 防除するか、しないか適切に判断します。
- ③ 物理的防除や天敵農薬など多様な方法から適切な方法を選びます。

政策目標

I P M の取組を点検できるチェックシート（ I P M 実践指標）を活用し、 I P M の実践を広げます。

<内容>

（ 1 ） I P M 実践モデル地域の育成、実践効果把握調査等

農業者自らが I P M の取組度を確認できるチェックシート（ I P M 実践指標）の作成を促進するとともに、 I P M 実践モデル地域を育成し、 I P M の効果を検証することにより I P M の普及を推進します。

（ 2 ） 農薬環境リスクの低減技術及び基幹的マイナー作物病害虫の防除技術の確立

環境負荷を低減する防除技術として、天敵・フェロモンなどを利用した防除体系、適切な農薬散布量・濃度を可能とする散布技術等を確立・導入するとともに、マイナー作物の総合防除体系確立を推進します。

<事業実施主体> 都道府県、農業者団体

<交付率> 定額（ 1 / 2 以内）

<事業実施期間> 平成 1 7 年度～ 2 1 年度

【担当課：消費・安全局 植物防疫課 （ 0 3 ） 3 5 0 2 － 3 3 8 2】